

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

事業概要		(PLAN)
基本目標		4 コーケ・ライフ・バランスの確立
方針		1 家庭と仕事の調和の推進と支援
施策の方向		1 家庭における男女共同参画を推進するための啓発活動の充実
事業番号/ 事業名		4111 家事・子育て・介護に関する男性対象講座の実施
事業内容		男性が「家庭と仕事を両立し、生き生きと活動していくことができるよう、男性対象の家事・子育て・介護に関する講座を実施する。
26年度に 向けた 方向性 (PLAN)		今後も男性のもつ課題、ニーズは何かを検討し、講座の方法や打ち出し方、広報先などを模索しつつ進めていく
参 考		
関連する計画		
実施内容 (D0)		
26年度	<p>【トピドエ】 「働く母親を応援する 男性・子どもの自立支援事業」ハバといっしょにクッキング&スラックス、 講師：小寺純子、栗岡多恵子 参加組 7組) 【健康増進課】 「60代からの男磨き講座」など、おおむね60～70歳男性、退職期を迎える世代を対象に、地域とのつながりをつくり継続した健康づくりが行えるように食生活、運動、お口の健康についての健康づくり講座を実施した。 12回 199人 (内訳) 60代からの男磨き講座「いざというときの料理(災害時の栄養)」1回 14人 高齢者食生活改善事業「元気なうちから始めよう健康料理教室～男のための料理編～」1回 18人 すみれ会武庫支部料理同好会による「男の料理教室」10回 167人 【子ども家庭支援課】 父親を対象とした子育て支援等に関する講座を実施し、父親の子育てへの参加の意識づくりを図るとともに、家庭で男女が協力して子どもを育てる責任を果たすこと、また子育てを喜びと感ずることの意義等に関する意識啓発を行った。 すこやかクラブ「ハバのためのスタニチセミナー」ハバの子育て応援講座」等父親の育児参加促進と父親同士の交流を実施 ハバの子育て応援講座「月1回日曜日、396人 ハバのためのスタニチセミナー」年2回、126人 【市民活動推進担当】 「ハバ、スズ簡単手作りお菓子教室」を開催。(小田地区会館：計3回) 「親子運動教室・ベビーマッサージ体験会」を開催。(武庫地区会館：計8回) 「ハバ&スズとこどもの虫・むし講座」を開催(園田地域振興センター：計1回) 【中央公民館(武庫公民館実施)】 (地域・現代学講座)いくつになっても始められる 「男の家庭料理入門講座」 1/17(18人) 1/31(19人) 2/14(20人) 2/28(18人) 3/14(20人) 3/28(19人)</p>	
前年 25年度	<p>【トピドエ】 「ハバ入門講座～地域のおいちゃんカブツ!」開催 講師：和田憲明 受講者数：11人) 「ハバの家事」きほんのきい、～家族がよるこぶかジャン入門～」開催 講師：堀田真直、和田憲明 参加者数：18人) 「働く母親を応援する 男性・子どもの自立支援事業」ハバといっしょにクッキング&スラックス、 講師：小寺純子、栗岡多恵子 参加組 8組) (健康増進課) 「60代からの男磨き講座」おおむね60～70歳男性、退職期を迎える世代を対象に、地域とのつながりをつくり継続した健康づくりが行えるように食生活、運動、お口の健康についての健康づくり講座を実施した。</p>	

局	市民協働局 教育委員会事務局 こども青少年局 健康福祉局	課	協働・男女参画課 市民活動推進担当 人権課 中央公民館 こども家庭支援課 健康増進課	事業番号	4111
---	---------------------------------	---	---	------	------

評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか
実施できた項目に	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れられているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください

評価2	(CHECK) 数値目標																
目標項目	家事・子育て・介護に関する男性対象講座実施数																
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>年1講座以上</th> <th>達成年度</th> <th>28年度</th> <th>26年度</th> <th>19講座</th> <th>25年度</th> <th>3講座</th> </tr> <tr> <td>実績の評価</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	目標値	年1講座以上	達成年度	28年度	26年度	19講座	25年度	3講座	実績の評価	<input checked="" type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考		
目標値	年1講座以上	達成年度	28年度	26年度	19講座	25年度	3講座										
実績の評価	<input checked="" type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考												

評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容
主な対象者に対する層をより明確にした内容を企画し、募集についてもターゲットが明確になるよう工夫されたい。 ・事業所管課だけでなく、同趣旨の講座や啓発活動を実施していると思われる他の公共施設の所管課に対して、照会を行い、男女共同参画に資する活動の有無について調査されたい。なお、照会の際には、事務局(協働・男女参画課)から、所管課に対して「第2次男女共同参画計画」の目的、事業目的等についての説明を行い、男女共同参画に関する理解が進むようにされたい。 ・イラストページごとの施策一覧表を参考に、各課の実施事業が、イラストページの層をターゲットにしたものかを把握したうえで、対策が必要と思われるイラストページの事業展開を適宜図られたい。	

男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について

(トピエ)	<ul style="list-style-type: none"> ・26年度は子育て世代の男性の家事自立支援として事業を実施。 ・27年度においても家事支援の事業を実施予定であり、対象を定めてその世代に効果が出るよう企画する。 <p>【協働・男女参画課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照会を行うにあたり、男女共同参画に資する内容となっているものについては、報告を求めた。男女共同参画とは何なのか、改めて職員が考える機会となるよう、計画の趣旨も含めて資料(別紙)を送付するとともに、口頭においても、説明を行ったところ、男女共同参画を主目的にしていなくても、男女共同参画に資するセミナーの開催は可能であることへの理解が一步進んだと感じており、今後においても、丁寧な説明を行っていきたい。 <p>【健康増進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退職などを期に、生活スタイルが変わる世代にターゲットを絞って実施している。
-------	--

今後の方向性	(ACTION)
(トピエ)	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代のワークライフバランスを考える事業の実施と、高齢期の男性のために家事・育児・介護、または人生について考える機会を提供し、男女共同参画についても考えるような事業を実施していく。 【人権課】 ・平成26年は未実施であったため、平成27年度以降は男性を対象とする家事・子育て・介護に関する講座の実施を検討していく。 【健康増進課】 ・今後も継続して実施する予定。 【こども家庭支援課】 ・引き続き、父親参加の事業を実施し、父親の子育て参加の意識づくりを図っていくとともに、事業内容が固定化しないよう、父親のニーズに即した事業内容を実施していく。 【市民活動推進担当】 ・市内6地区会館において、男女共同参画の意識づくりの自主事業の実施を推奨していく。 【中央公民館】 ・今後も引き続き地域問題・社会問題をテーマとした講座の中で、展開してまいります。

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

事業概要		(PLAN)
基本目標	4 ヲウ・ライフ・バランスの確立	
方針	1 家庭と仕事の調和の推進と支援	
施策の方向	1 家庭における男女共同参画を推進するための啓発活動の充実	
事業番号/ 事業名	4112 男性のための子育て講座の実施	
事業内容	男性の育児参加を目的とした講座を実施する。	
26年度に 向けた 方向性 (PLAN)	市のホームページに日程を掲載し、早くに周知することで、申込者が増加した。平日に開催されている地域保健担当のスタグニセミナーにも、夫の参加が増え、妊娠期より夫婦で子育てを考える家庭が増えていると考える。共働き家庭も増え、平日のみならず、休日にも開催する意義は大きく、今後も継続して開催していく。	
参 考	関連する計画	
実施内容	(DO)	
26年度	<p>〔健康増進課〕 「休日版/パパのためのスタグニセミナー」 実施時期：年2回(6月・11月)、休日に実施 目的：妊婦、育児体験を通して子育てに対する具体的なイメージを持ち、夫婦が親としての意識や役割を考える機会をもち、共に子育てに取り組むことで育児不安の軽減や虐待予防につなげる。 対象：市内在住の妊婦とそのパートナー30組(交流会は、市内在住の乳児を持つ親)</p> <p>内容 子モンストレーション…排卵から出産までについて 妊婦体験…妊娠シュミレーターを使用し父親に妊婦体験をしてみよう 育児体験…夫婦で実際に沐浴人形を使用し、おむつ交換やミルクの飲ませ方、抱き方などを実施 先輩/パパママとの交流会…/パパママ同士にわかれて先輩の出産や子育ての体験談を聞き、質問やアドバイスを受ける <参加人数>第1回目 妊婦とその夫 27組 先輩/パパママ 3組 第2回目 妊婦とその夫 25組 先輩/パパママ 5組</p> <p>両親参加の子育ての視点や家族の健康を考えるきっかけとして、これまで妊婦対象に実施してきた栄養教室や歯の教室について、夫婦対象に休日に開催した休日に開催した 休日版/パパママ/パパセミナー (栄養、歯) 健康増進課 5回 58組 116人</p> <p>〔こども家庭支援課〕 父親を対象とした子育て支援等に関する講座を実施し、父親の子育てへの参加の意識づくりを図るとともに、家庭で男女が協力して子どもを育てる責任を果たすこと、また子育てを喜びと感ずることの意義等に関する意識啓発を行った。 すこやかクラブ 「パパのためのスタグニセミナー」/パパの子育て応援講座、等父親の育児参加促進と父親同士の交流を実施 /パパの子育て応援講座、月1回日曜日、396人 /パパのためのスタグニセミナー、年2回、126人</p> <p>〔市民活動推進担当〕 /パパママ簡単手作りお菓子教室を開催。(小田地区会館、計3回) /パパママ親子運動教室、ベビーマッサージ体験会を開催。(武庫地区会館、計8回) /パパママとこどもの虫・むじ講座を開催(園田地域振興センター、計1回)</p>	
前年 25年度	<p>〔健康増進課〕 「休日版/パパのためのスタグニセミナー」 実施時期：年2回(6月・11月)、休日に実施 目的：妊婦、育児体験を通して子育てに対する具体的なイメージを持ち、夫婦が親としての意識や役割を考える機会をもち、共に子育てに取り組むことで育児不安の軽減や虐待予防につなげる。 対象：市内在住の妊婦とそのパートナー30組(交流会は、市内在住の乳児を持つ親)</p> <p>内容 子モンストレーション…排卵から出産までについて 妊婦体験…妊娠シュミレーターを使用し父親に妊婦体験をしてみよう 育児体験…夫婦で実際に沐浴人形を使用し、おむつ交換やミルクの飲ませ方、抱き方などを実施 先輩/パパママとの交流会…/パパママ同士にわかれて先輩の出産や子育ての体験談を聞き、質問やアドバイスを受ける <参加人数>第1回目 妊婦とその夫 32組 先輩/パパママ 4組 第2回目 妊婦とその夫 26組 先輩/パパママ 4組</p> <p>両親参加の子育ての視点や家族の健康を考えるきっかけとして、これまで妊婦対象に実施してきた栄養教室や歯の教室について、夫婦対象に休日に開催した休日版/パパママ/パパセミナー (栄養、歯) 健康増進課 4回 40組78人 すこやかクラブ/パパの子育て応援講座、父親の育児参加促進と父親同士の交流会 月1回日曜日 延419人</p>	

局	健康福祉局 教育委員会事務局 市民協働局 こども青少年局	課	健康増進課 保健センター 中央公民館 市民活動推進担当 人権課 こども家庭支援課	事業番号	4112
---	---------------------------------	---	---	------	------

評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れられているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれず実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)
	を入れてください

評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	28年度	26年度	25年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している		<input type="checkbox"/>	下回った

評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容
	<p>・事業所管課だけでなく、同趣旨の講座や啓発活動を実施していると思われる他の公共施設の所管課に対して、照会を行い、男女共同参画に資する活動の有無について調査されたい。なお、照会の際には、事務局(協働・男女参画課)から、所管課に対して「第2次男女共同参画計画」の目的、事業目的等についての説明を行い、男女共同参画に関する理解が進むようにされたい。</p> <p>・「ライフステージ」ごとの施策一覧表」を参考にし、各課の実施事業が、ライフステージのどの層をターゲットにしたものかを把握したうえで、対策が必要と思われるステージへの事業展開を適宜図られたい。</p>

男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について

	<p>(健康増進課) 妊産期から夫婦で育児について、学ぶ機会をもつことで、他機関での男性の育児教室にもつながっていく。</p>
--	--

今後の方向性	(ACTION)
--------	----------

〔健康増進課〕
 市ホームページによる早期予告は参加者の増加に繋がっており、夫婦が妊産期からの子育ての準備を前向きに実施できるよう、今後も継続した取り組みを行っていく。
 〔人権課〕
 平成26年度については男性の育児参加を目的とする、講座等は未実施であったため、平成27年度以降は講演会・講座等の実施を検討していく。
 〔こども家庭支援課〕
 引き続き、父親参加の事業を実施し、父親の子育て参加の意識づくりを図っていくとともに、事業内容が固定化しないよう、父親のニーズに即した事業内容を実施していく。
 〔市民活動推進担当〕
 市内6地区会館において、男女の育児参加を目的とした講座の実施を推奨していく。
 〔中央公民館〕
 今後、社会問題をテーマとした講座の中で、展開してまいります。

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	こども青少年局 教育委員会事務局	課	保育指導担当 学校教育課	事業番号	4121
事業概要 (PLAN)				評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立			<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)	
方針	1 家庭と仕事の調和の推進と支援 重点方針				
施策の方向	2 家庭教育に関する学習機会の提供				
事業番号/ 事業名	4121 保育所等における保護者への啓発			<input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	
事業内容	保護者が子どもに対して性別による固定的な役割分担意識で接することのないような啓発、男性の育児参加についての啓発を行う。				
26年度に 向けた 方向性 (PLAN)	【保育課】 日々の保護者対応で把握したニーズに沿った取組みを行っていく。 【学校教育課】 啓発資料の整理や、効果的な活用方法を探っていくとともに、啓発の場を増やす。			評価2 (CHECK) 数値目標	
参 考	関連する計画			目標項目 目標・実績 目標値 <input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 28年度 26年度 25年度 実績の評価 <input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った	
実施内容 (DO)				評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容	
26 年度	【保育課】 (公立) ・保育所だよりの発行(毎月) ・子育てサポートブック「amaえんぼう」を地区の生涯学習フェアや保育体験・夢ルームで配布した。 (夢ルームでは、参加の保護者同士が話し合う時に活用した。) ・子育て支援事業案内 6,750枚/年 ・尼崎市立保育所の保育リーフレットの配布 (私立) ・保育園を運営している法人が、それぞれの策定する保育方針に基づき、啓発活動をしている。 【学校教育課】 ・保護者会等の機会を捉えて、子育てに関する情報交換等の中で、男女共生や男性の育児参加についても啓発している。 ・別添資料「幼稚園長会作成のリーフレット」を就学前の家庭に配布し、啓発している。			男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について	
前年 25 年度	【保育課】 (公立) 保育所だよりの発行(毎月) 子育て冊子「amaえんぼう」を各地区の公共施設やつどいの広場に設置し、 保健センターと連携し、乳幼児健診(1歳6か月健診)で配布 6,000部 子育て支援事業案内@6,500枚×年1回 (私立) 保育園を運営している法人がそれぞれ策定する保育方針に基づき啓発活動を実施している。 【学校教育課】 幼稚園の保護者会等の機会を捉えて、男女共生や男性の育児参加について啓発している。			今後の方向性 (ACTION) 【保育課】 「就学前教育の子ども保育についての基本的な考え方」【平成26年12月作成】(別紙)を周知・啓発していく。 【学校教育課】 啓発資料の整理や、効果的な活用方法を探っていくとともに、啓発の場を増やす。	

“就学前の教育・保育”は、“木の根を太く・大きくするようなもの”

みんなで土をたがやして
それが、将来、花開くことになるのです

尼崎市は「たくわえて花開く力」を育みます
(強伸びする力)

子どもは遊びを通じた学びによって
多くのことを身に付けています

① 愛着の形成 (地域)

② 情緒の安定 (家庭)

③ 基本的な生活習慣の確立 (家庭)

④ さまざまな経験の蓄積 (幼稚園・保育所)

⑤ いろいろな人とかかわる力の獲得 (幼稚園・保育所)

自己肯定感

- 他者を尊重する
- 思いやり
- 自ら進んで学び考える
- 自分自身の考え・思いを表現すること
- 粘り強さ
- 協調性
- 社会性
- ルールやマナーが守れる
- 応用力
- 創造力

市民の皆さんへ

子育てに正解はありません。それぞれの子育ての方法でよいのです。子どもとの日々の会話や根本の読み聞かせ等、子どもとのふれあいの時間を大切に、次の3か条を実践してみましょう。また、地域、幼稚園・保育所・認定こども園等の子どもに関わる方々も、この考え方を共有していただきたいと思います。

笑顔で子育て3か条

- 1. DとDで抱ます、外に出てみる**
保護者はみんなを同じように抱んでいます。また、抱むことも時には必要です。思い切つて、外に出てみましょう。また、地域の方は、子育て中の方に声をかけてみましょう。
- 2. 子どもと同じ目線で見てみる**
子どもの行動は気持ちや興味の現れです。すぐに叱らず、見守り、子どもが何を考えて、どうしたのかを考えてみましょう。
- 3. 自分の行動も振り返ってみる**
子どもは大人の行動をよく見ています。そのことを意識して、生活習慣や交通ルール、マナー等、日ごとの行動に気をつけましょう。

新しい発見があるかも知れません

子育てで困ったら…

あまのこ子育て
いいひと
子育てに関する情報や相談先等を掲載しています。
<http://amagasaki-city.mamafre.jp/>

このリーフレットは、「就学前の子どもの教育・保育」についての基本的な考え方の内容をテーマ化したものです。
詳しくは、「基本的な考え方」をご覧ください。

尼崎市 子育て支援課

尼崎市 就学前の子どもの教育・保育についての基本的な考え方

就学前の時期は、子どもの成長にとって重要な時期です。長い目で見て、どのようなことが就学前に必要なのでしょうか。

保護者の意識 | 尼崎市の学生の保護者に調査しました(平成26年度)



自ら学び考える第一歩は就学前の遊びです。

経験・体験の重要性 | 文部科学省「幼児教育の充実」(平成26年3月)

この事例があります

生活の場面で感じるための
感覚が重要

尼崎市では、子どもの発達や学びの連続性・重要性を認識しながら、就学前に重視する5項目(中画①～⑤)をまとめました。

子どもが輝く 尼崎市立幼稚園の教育

—「幼児の心を育てる」—

幼稚園の一日



おうちの人と登園



自分で見つけた遊び



18園が集まる「みんなのつどい」
於 ペイコム記念体育館



また、明日ね！



クラスでの活動



絵本の読み聞かせ



お弁当



尼崎市立幼稚園長会

尼崎市立幼稚園18園では

あとの
遊びを通して学び「後伸びする力」を育てます

「後伸びする力」とは、幼児が主体的な遊びを十分にする中で育つ、生涯にわたる人間形成の基礎となる力と考えています。

豊かな体験ができる環境→心を育てます



幼稚園・小学校の連携→学びをつなげます



基本的な生活習慣→手洗い・箸にポイントをおいています

<手洗い>「♪～でのひらあらいましょう」歌に合わせて、丁寧に洗います。



特別支援教育→一人一人のよさを伸ばします

<ままごと遊び>



子育て支援→子どもと親のつながりを深めます



<箸>正しい箸の持ち方、使い方で楽しくお弁当！



<友達と一緒にリズム&ダンス>



主な年間行事



- 1学期** 進級式 入園式 健康診断 家庭訪問 交通安全指導
土曜(日曜)参観 遠足 プール遊び 懇談会 夏祭り など
- 2学期** 運動会 遠足 みんなのつどい 幼稚園ウイーク 作品展 音楽会 お楽しみ会
懇談会 など
- 3学期** お正月遊び 生活発表会 お別れ遠足 卒園証書授与式 修了式 など
- 月例** 身体測定 誕生会 避難訓練 保育参観 親子絵本貸出 など

すこやか子育て支援事業

市立幼稚園では月1回程度、園庭開放や幼稚園の行事への参加、講演会などの子育て支援や地域の親子のふれあい、在園児との体験保育、子育てについての情報交換の場として次のような事業を実施しています。

対象は就学前の幼児とその保護者です。(詳細・申し込みは直接、各幼稚園)

あいあいランド

園庭や遊戯室で、親子で自由に遊びます。
平成26年5月16日から平成27年2月6日
金曜日 午後1時30分～3時 計10回

ふれあいランド

子育てについての講演会、運動会、幼稚園祭りなどの行事に参加したり、在園児と共に保育を体験したりしていただけます。
実施日、内容などは各幼稚園で異なりますのでお問い合わせください。

*特設学級設置園

園名	TEL	所在地	園名	TEL	所在地
博愛	6481-1851	南城内5	富松	6422-2208	富松町3-35-13
梅園	6401-0267	東難波町4-3-20	武庫	6431-0945	武庫元町2-25-9
*竹谷	6411-3442	北竹谷町2-36	武庫北	6431-9540	常松2-14-60
*長洲	6481-8042	長洲東通3-7-48	*武庫南	6438-0661	南武庫之荘6-3-24
*大庄	6416-7101	大庄中通4-43-1	武庫庄	6433-5711	武庫之荘本町3-21-26
大島	6416-0693	稲葉荘1-9-25	園田	6491-8686	口田中1-2-17
*立花	6428-0115	栗山町2-26-2	*園和	6491-9358	東園田町6-90-1
立花東	6426-7810	南塚口町5-16-1	園和北	6491-9400	東園田町3-76-1
塚口	6421-1681	塚口町2-13-9	小園	6492-0444	小中島3-17-3

尼崎市教育委員会 6489-6738 (学務課) 6489-6727 (学校教育課)

ホームページ

<http://www.ama-net.ed.jp/school/k00/>

平成26年9月発行

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

事業概要 (PLAN)	
基本目標	4 ヲーク・ライフ・バランスの確立
方針	1 家庭と仕事の調和の推進と支援 重点方針
施策の方向	2 家庭教育に関する学習機会の提供
事業番号/ 事業名	4122 子育て家庭に対する啓発
事業内容	保護者が子どもに対して男女共同参画の視点に立った家庭教育ができるよう、子育て家庭に対する講座を実施する。
26年度に 向けた 方向性 (PLAN)	「子育て」を男女共同参画の視点から考えることは、重要であるとの観点から、今後も事業を推進していく
参 考	関連する計画
実施内容 (DO)	<p>【トピエ】</p> <p>「働くママの時間管理術」(講師:瀧井智美、受講者数:8人) 「子どもを預けて読書でリラックスタイム」(参加者のべ52人) 【神崎総合センター】 子育て自分育ち教室(参加人数:302人) (内容:保育所、幼稚園に行っていない未就学児とその親を対象に、子育てに関する講座と子育てに関する個別相談(託児あり)を実施。親同士のネットワークづくり、 【健康増進課】 ふたごのための育児教室(4回 延75人) 食育推進講座(3回 62人) 健康づくり事業(親子健康づくり探検 1回 7人) 【子ども家庭支援課】 すこやかプラザ つどいの広場で子育て講習会やイベントを実施し、家庭の子育て力の向上を図るとともに、子育てを喜びと感じることへの意識啓発を行った。 平成26年度実績 すこやかプラザにおける子育て支援事業(実施回数、利用者数) 24回、512人 つどいの広場(10か所合計)における子育て講習会及びイベント(実施回数、利用者数) 689回、12,073人 【中央公民館】 子育て学習世代間交流事業 中央公民館(16回) 21組 599人 小田公民館(13回) 20組 524人 大庄公民館(14回) 18組 499人 立花公民館(14回) 22組 542人 武庫公民館(14回) 25組 488人 園田公民館(15回) 28組 665人</p>
26年度	
前年 25 年度	<p>【トピエ】</p> <p>男女共同参画市民企画講座「大切にしよう!心とからだ 小さいときから始める性教育」を開催 (内容:子ども向けと大人向けワークショップを行い、親子で学べる講座 受講者数:70人) 「働くママの時間管理術」 (内容:定員8人の少人数の講義と相談会 講師:瀧井智美、受講者数:8人) 【神崎総合センター】 子育て自分育ち教室(2回 218人) (内容:保育所、幼稚園に行っていない未就学児とその親を対象に、子育てに関する講座と子育てに関する個別相談(託児あり)を実施。親同士のネットワークづくり、 子育て不安の解消等に役立っている。)</p>

評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか

実施できた項目に	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の企画・立案・実施に当たり、男女共同参画の視点を取り入れているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。
		(その他の特記事項)
		を入れてください

評価2 (CHECK) 数値目標

目標項目		達成年度			
目標・実績	目標値	達成年度	28年度	26年度	25年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	下回った

評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容

・事業所管課だけでなく、同趣旨の講座や啓発活動を実施していると思われる他の公共施設の所管課に対して、照会を行い、男女共同参画に資する活動の有無について調査された。なお、照会の際には、事務局(協働・男女参画課)から、所管課に対して「第2次男女共同参画計画」の目的、事業目的等についての説明を行い、男女共同参画に関する理解が進むようにされたい。

・「ライフステージごとの施策一覧表」を参考にし、各課の実施事業が、ライフステージの層をターゲットにしたものかを把握したうえで、対策が必要と思われるステージへの事業展開を適宜図られたい。

男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について

【トピエ】
 ・26年度は働く母親を対象としたものと、1歳以上就学前児をもつ保護者を対象とした事業を実施。27年度も子育て中の人を対象とした事業を実施予定。事業の効果を高めるため、対象はしばって企画・実施するとともに、女性センターとして様々な層を対象とするよう計画を立てている。

【協働 男女参画課】
 ・照会を行うにあたり、男女共同参画に資する内容となっているものについては、報告を求めた。男女共同参画とは何なのか、改めて職員が考える機会となるよう、計画の趣旨も含めて資料(別紙)を送付するとともに、口頭においても、説明を行ったところ、男女共同参画を主目的にしていないとしても、男女共同参画に資するセミナーの開催は可能であることへの理解が一步進んだと感じており、今後においても、丁寧な説明を行っていききたい。

【健康増進課】
 ・親子の健康づくりについて、休日に実施することで、家族や親子で参加する機会とする。

今後の方向性 (ACTION)

【トピエ】
 ・子育てに関する事業はニーズが高い。家庭教育の中で男女共同参画の視点を持つことは重要であるため事業を継続して実施していく。
 ・子育て世代へ向けた連続講座や単発事業など参加しやすいものを検討するとともに、相談や情報事業など含め女性センターへつながるよう事業を進めていく。
 ・人権課
 ・講演会等を通じて、男女協働参画の視点を取り入れた家庭教育の推進が進むよう、子育て家庭に関する啓発活動に取り組み、健康増進課
 ・今後も継続して実施する
 ・子ども家庭支援課
 ・引き続き、すこやかプラザ、つどいの広場で子育て講習会やイベントを実施し、家庭の子育て力の向上を図るとともに、子育てを喜びと感じることへの意識啓発を行っていく。また、利用者のニーズに即した講座等を実施し、参加者の増加を図っていく。
 【市民活動推進担当】
 ・市内6地区会館において、保護者が子どもに対して男女共同参画の視点に立った家庭教育ができるような講座の実施を推奨していく。
 【中央公民館】
 ・今後も引き続き子育て家庭に対する啓発をテーマとした講座を、展開してまいります。

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	経済環境局	課	しごと支援課	事業番号	4131
事業概要 (PLAN)			評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか		
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立		実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)	
方針	1 家庭と仕事の調和の推進と支援	重点方針			
施策の方向	3 育児・介護休業法の活用促進				
事業番号/事業名	4131 国・県のパンフレットによる育児・介護休業法の活用促進				
事業内容	国・県のパンフレットなどにより、育児・介護休業法の活用促進を行う。				
26年度に向けた方向性 (PLAN)	多様な働き方に対する活用方法や制度改正等について、引き続き、求職者や求人企業、団体等、多様な主体と連携・協力しながら積極的に啓発に取り組んでいく。		評価2 (CHECK) 数値目標		
参考	関連する計画		目標項目 目標・実績 目標値 達成年度 28年度 26年度 25年度 実績の評価 <input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った		
実施内容 (DO)			評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容		
26年度	本市のポータルサイト「あまjobステーション」において、女性の就業促進や健康の保持・増進の充実を目的としている「女性就業支援全国展開事業」等について積極的に周知し、企業に取組みを呼びかけるとともに、「尼崎市無料職業紹介窓口」において、ひょうご仕事と生活センターが発行している、育児休業・介護休業等の助成金に関するチラシを設置・配布している。		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について		
前年 25年度	・出屋敷りベル3階の「尼崎市無料職業紹介窓口」及び本市のポータルサイト「あまJobステーション」において、厚生労働省が発行している「改正育児・介護休業法のあらまし」や「女性労働者の母性健康管理のために」等のパンフレットを設置・配布するとともに、ひょうご仕事と生活センターが発行している各種助成金に関するちらしを設置・配布している。		今後の方向性 (ACTION) 今後とも厚生労働省のホームページやひょうご仕事と生活センター発行資料等で多様な働き方活用方法や、制度改正等に留意し、ひょうご仕事と生活センターと連携し積極的に啓発に取り組んでいく。		

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	こども青少年局	課	保育課 こども家庭支援課	事業番号	4141(1414)
---	---------	---	--------------	------	-------------------

事業概要 (PLAN)	
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立
方針	1 家庭と仕事の調和の推進と支援 重点方針
施策の方向	4 保育サービス等の提供
事業番号/事業名	4141(1414) 多様な保育サービスの充実(再掲)
事業内容	保育所では、通常保育、障害児保育、延長保育、休日保育、0歳児保育等を継続実施する中で、可能な範囲で保育サービスの充実を図る。また、保育所の改築・改修を行うなど、保育環境の改善に取り組むとともに、必要に応じて定員増をするなど、待機児童の解消に努める。また、最終的に公立保育所としての役割を担う保育所では、施設整備後に0歳児保育や一時預かりなどを実施する。さらに、保護者の子育てと就労の両立を支援するため、病気やその回復期の児童を一時的に保護・看護する。
26年度に向けた方向性 (PLAN)	【保育課】 ・子ども・子育て支援制度を見据え、待機児童対策プログラムに基づいて待機児童の解消を図る。 ・保育所での育児相談や保育体験等を通して、子育てについての助言等を行い、家庭における子育て力を高める。 【こども家庭支援課】 保護者の子育てと就労の両立を支援する取組として継続するとともに、積極的なPRに取り組む。 現在の実施場所は2か所とも北部地域にあり、利用者の利便性の向上を図るためには、他の地域において実施施設を増やすことが必要であり、引き続き次世代育成支援対策推進行動計画に計上している1か所の増設に向けて取り組む。
参考	関連する計画 尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画、【保育課】待機児童対策プログラム

評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか					
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)				
評価2 (CHECK) 数値目標					
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	28年度	26年度	25年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している		<input type="checkbox"/>	下回った

実施内容 (DO)	
26年度	【保育課】 ・平成27年3月の入所児童数6,916人(公・私) ・平成27年3月の待機児童数139人(南部地域96人、北部地域43人) ・(公立)育児相談・各保育所で懇談会(個人・クラス別)、家庭訪問・園庭開放・保育体験等の機会に育児相談を適宜実施。 ・乳児保育の実施。(公立8ヶ所、私立56ヶ所) ・一時預かり事業の実施。(私立25ヶ所/延べ17,395人、公立1ヶ所/延べ885人) ・延長保育の実施。(公立25ヶ所、私立56ヶ所の81ヶ所/延べ150,353人) 【こども家庭支援課】 ・市内2か所の医療機関に病児保育室を設置している。それぞれの医療機関において診療を受けたうえで、病児保育室で保育士や看護師から保育・看護を受ける。延べ利用者数 平成26年度:1,879人 (実施機関)小中島診療所キッズケアハウス<尼崎市小中島2丁目8-8>、高原クリニック病児保育室<尼崎市南武庫之荘1丁目15-5>

評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容					
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について					

前年 25年度	【保育課】 ・平成26年3月の入所児童数6,751人(公・私) ・平成26年3月の待機児童数368人(南部地域93人、北部地域275人) ・(公立)育児相談・各保育所で懇談会(個人・クラス別)、家庭訪問・園庭開放・保育体験等の機会に育児相談を適宜実施。 ・乳児保育の実施。(公立8ヶ所、私立53ヶ所) ・一時預かり事業の実施。(私立25ヶ所/延べ16,369人、公立1ヶ所/延べ397人) ・延長保育の実施。(公立28ヶ所、私立53ヶ所の81ヶ所/延べ141,328人) 【こども家庭支援課】 ・市内2か所の医療機関に病児保育室を設置している。それぞれの医療機関において診療を受けたうえで、病児保育室で保育士や看護師から保育・看護を受ける。延べ利用者数 平成25年度:2,123人 (実施機関)小中島診療所キッズケアハウス<尼崎市小中島2丁目8-8>、高原クリニック病児保育室<尼崎市南武庫之荘1丁目15-5>
------------	--

今後の方向性 (ACTION)					
【保育課】 ・子ども・子育て支援制度を見据え、待機児童対策プログラムに基づいて待機児童の解消を図る。 ・保育所での育児相談や保育体験等を通して、子育てについての助言等を行い、家庭における子育て力を高める。 【こども家庭支援課】 ・保護者の子育てと就労の両立を支援する取組として継続するとともに、積極的なPRに取り組む。 ・現在の実施場所は2か所とも北部地域にあり、利用者の利便性の向上を図るためには、他の地域において実施施設を増やすことが必要であり、引き続き次世代育成支援対策推進行動計画に計上している1か所の増設に向けて取り組む。					

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	子ども青少年局	課	子ども家庭支援課	事業番号	4142											
事業概要 (PLAN)	評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか															
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立															
方針	1 家庭と仕事の調和の推進と支援 重点方針															
施策の方向	4 保育サービス等の提供															
事業番号/ 事業名	4142 ファミリーサポートセンター運営事業															
事業内容	子育て家庭の負担軽減を図るために、アドバイザーを設置して、会員登録している育児の援助を受けたい人と援助を行いたい人とをコーディネートすることにより、地域の支えあいによる子育て支援を推進する。															
26年度に 向けた 方向性 (PLAN)	地域で支え合い子育てを支援するための有効な取組であり、今後とも市報等の紙媒体による定期的な情報発信を行うとともに、ホームページにおいて関連事業としてリンクさせるなど、情報を求める側の視点に立ったより分かりやすい情報発信を行い、登録会員数や利用件数の更なる増加を図る。															
参考	関連する計画	尼崎次世代育成支援対策推進行動計画														
実施内容 (DO)	評価2 (CHECK) 数値目標															
26 年度	「子育てを援助してほしい人」と「子育てを援助したい人」を会員として、地域で互いに子育てを支え合う仕組みを構築する。登録やコーディネートについては社会福祉協議会においてアドバイザーを配置し、事業の円滑化を図るとともに関係機関との調整を行う。 (利用料金)1時間 800円～900円 (実績) 平成26年度:会員数1,788人(依頼会員1,332人、協力会員373人、依頼・協力会員83人)、件数2,583件 (平成26年度実績内訳) 保育施設の保育開始時や保育終了後の子どもの預かり:652件 保育施設までの送迎:474件 放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり:374件 学校の放課後の子どもの預かり:102件 冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり:31件 買物等外出の際の子どもの預かり:56件 その他:894件															
	<table border="1"> <tr> <td>目標項目</td> <td>目標値</td> <td>達成 年度</td> <td>28 年度</td> <td>26年度</td> <td>25年度</td> </tr> <tr> <td>実績の評価</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td></td> </tr> </table>					目標項目	目標値	達成 年度	28 年度	26年度	25年度	実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った
目標項目	目標値	達成 年度	28 年度	26年度	25年度											
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った												
前年 25 年度	「子育てを援助してほしい人」と「子育てを援助したい人」を会員として、地域で互いに子育てを支え合う仕組みを構築する。登録やコーディネートについては社会福祉協議会においてアドバイザーを配置し、事業の円滑化を図るとともに関係機関との調整を行う。 (利用料金)1時間 800円～900円 (実績) 平成25年度:会員数1,648人(依頼会員1,221人、協力会員349人、依頼・協力会員78人)、件数2,699件 (平成25年度実績内訳) 保育施設の保育開始時や保育終了後の子どもの預かり:916件 保育施設までの送迎:414件 放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり:177件 学校の放課後の子どもの預かり:85件 冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり:88件 買物等外出の際の子どもの預かり:77件 その他:942件															
今後の方向性 (ACTION)		地域で支え合い子育てを支援するための有効な取組であり、今後とも市報等の紙媒体による定期的な情報発信を行うとともに、ホームページにおいて関連事業としてリンクさせるなど、情報を求める側の視点に立ったより分かりやすい情報発信を行い、登録会員数や利用件数の更なる増加を図る。また、活動中の事故や会員間のトラブルを未然に防止し、子どもの安心・安全を確保した活動が行えるよう人員の増員を図る。														
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について																

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	子ども青少年局	課	子ども家庭支援課	事業番号	4143			
事業概要 (PLAN)			評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか					
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立		実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)				
方針	1 家庭と仕事の調和の推進と支援	重点方針						
施策の方向	4 保育サービス等の提供							
事業番号/事業名	4143 地域での子育て支援							
事業内容	子育てに関する悩みや不安を軽減し、安心して子育てができる環境を創出するため、公立保育所の園庭開放やつどいの広場など、親子が気軽に集まり仲間づくり及び情報交換ができる交流の場を身近な地域に設置する。また、保護者の育児への負担感を軽減するため、つどいの広場等で一時預かり事業を実施する。							
26年度に向けた方向性 (PLAN)	子育てしやすい環境づくりを一層推進するため、引き続きつどいの広場を年次的に順次増設し、子育て支援の充実を図るとともに、関係機関と連携する中で、子育て支援に関する情報の収集・発信を図る。平成26年度に新たに設置するつどいの広場においては、市内で児童数が多いものつどいの広場の空白地域となっている小園中学校区及び武庫・常陽中学校区の2箇所を増設する。							
参考	関連する計画	尼崎次世代育成支援対策推進行動計画						
実施内容 (DO)			評価2 (CHECK) 数値目標					
26年度	[つどいの広場事業] 平成18年度から、主に乳幼児とその保護者が気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる交流の場を身近な地域に設置している。 <設置箇所数と延べ利用者数> 平成26年度:10か所・62,595人 [一時預かり事業] 平成23年度から、子育ての負担感の軽減のため、一時預かり事業をつどいの広場に併設し実施する。 <設置箇所数と延べ利用実績> 平成26年度:3か所・522人、1,070時間		目標項目					
			目標・実績	目標値	達成年度	28年度	26年度	25年度
		実績の評価		<input type="checkbox"/>	達成している		<input type="checkbox"/>	下回った
			評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容					
			男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について					
前年 25年度	[つどいの広場事業] 平成18年度から、主に乳幼児とその保護者が気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる交流の場を身近な地域に設置している。 <設置箇所数と延べ利用者数> 平成25年度:8か所・48,529人 [一時預かり事業] 平成23年度から、子育ての負担感の軽減のため、一時預かり事業をつどいの広場に併設し実施する。 <設置箇所数と延べ利用実績> 平成25年度:3か所・405人、1,003.5時間		今後の方向性 (ACTION)					
			引き続き、子育てしやすい場所づくりを一層推進するため、関係機関と連携する中で、子育て支援に関する情報の収集・発信を行う。また、拠点に従事するスタッフ向けに利用者への支援の実施に必要な能力・資質の向上を図るための研修を実施する。					

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	子ども青少年局	課	子ども家庭支援課	事業番号	4144
事業概要 (PLAN)			評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか		
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立		実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)	
方針	1 家庭と仕事の調和の推進と支援	重点方針			
施策の方向	4 保育サービス等の提供				
事業番号/事業名	4144 すこやかプラザにおける子育て支援事業の充実				
事業内容	在宅で子育てをしている保護者とその子どもが気軽に交流できる拠点として子育て支援ゾーンパルを運営するとともに、子育て支援に関する講座やイベントを実施する。				
26年度に向けた方向性 (PLAN)	気軽に立ち寄れるランチルームの提供や多目的スペースでの子育て支援に関する講座・イベントの実施、一時預かり事業の実施を行うとともに、引き続き定期的にアンケート調査を実施するなど、利用者ニーズの把握に努める中で、より利用者のニーズに即した事業展開を図る。また、新たに実施した一時預かり事業の認知度向上に向けた周知活動を行う。				
参考	関連する計画	尼崎次世代育成支援対策推進行動計画			
実施内容 (DO)			評価2 (CHECK) 数値目標		
26年度	1 実施概要		目標項目		
	・平成18年4月1日から指定管理者制度を導入 ・指定期間 平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年間) 3期目 ・指定管理者 特定非営利活動法人子どものみらい尼崎		目標・実績 目標値 達成年度 28年度 26年度 25年度		
26年度	2 施設概要		実績の評価		
	・事業開始年度 平成12年6月 ・施設面積 1,170.68㎡		<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った		
26年度	3 事業内容、実績		評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容		
	・子育て支援ゾーンPAL (延べ利用者数) 平成26年度:28,022人 ・子育て支援事業 (実施回数、利用者数) 平成26年度:24回512人 ・多目的ホール (利用状況) 平成26年度:1,679件52.0% ・一時預かり事業 (延べ利用者数、延べ利用時間数) 平成26年度:508人1,593時間		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について		
前年25年度	1 実施概要		今後の方向性 (ACTION)		
	・平成18年4月1日から指定管理者制度を導入 ・指定期間 平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年間) 3期目 ・指定管理者 特定非営利活動法人子どものみらい尼崎		気軽に立ち寄れるランチルームの提供や多目的スペースでの子育て支援に関する講座・イベントの実施、一時預かり事業の実施を行うとともに、引き続き定期的にアンケート調査を実施するなど、利用者ニーズの把握に努める中で、より利用者のニーズに即した事業展開を図る。		
前年25年度	2 施設概要				
	・事業開始年度 平成12年6月 ・施設面積 1,170.68㎡				
前年25年度	3 事業内容、実績				
	・子育て支援ゾーンPAL (延べ利用者数) 平成25年度:28,531人 ・子育て支援事業 (実施回数、利用者数) 平成25年度:26回491人 ・多目的ホール (利用状況) 平成25年度:1,798件55.6% ・一時預かり事業 (延べ利用者数、延べ利用時間数) 平成25年度:283人765時間				

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	子ども青少年局	課	児童課	事業番号	4145
事業概要 (PLAN)	評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立				
方針	1 家庭と仕事の調和の推進と支援 重点方針				
施策の方向	4 保育サービス等の提供				
事業番号/事業名	4145 放課後児童健全育成事業(児童ホーム)・児童育成環境整備事業(こどもクラブ)の実施				
事業内容	小学生の健全育成のため、小学校低学年の留守家庭児童については、「児童ホーム」において、放課後、安全で快適な環境の中で、遊びや生活指導などを行う。また、全児童対象の「こどもクラブ」において、安全で安心な遊び場の提供と異年齢児童の交流の場を提供する。				
26年度に向けた方向性 (PLAN)	子ども・子育て関連3法による、対象年齢の拡大に伴う高学年の受け入れや設備及び運営基準に係る最低基準の規定の整備などの取り組みにより、放課後児童健全育成事業の充実を図ることで、児童の健全育成並びにその保護者の就労支援に資する。				
参考	関連する計画	尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画			
実施内容 (DO)	評価2 (CHECK) 数値目標				
26年度	目標項目				
	目標・実績	目標値	達成年度	28年度	26年度
25年度	実績の評価				
		<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った
評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容					
従来の枠組みにこだわらず、待機児童を減らすための効果的な方法を検討されたい。					
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について					
子ども・子育て審議会の答申を踏まえて、待機児童の多いエリアを重点的に児童ホームを増設し、定員の拡大を図る。加えて、補助金による運営支援を行い民間事業者の児童ホームを活用することで対応する。					
今後の方向性 (ACTION)					
放課後児童健全育成事業については、子ども・子育て支援事業計画の確保方策を基本として、将来推計を参考としながら児童ホームの増設や民間事業者の活用により量的拡大を図る。また、児童育成環境整備事業については、引き続き安全で安心な遊び場の提供と異年齢の交流の場の提供を行っていく。					

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】 **実施状況調査票**

局	健康福祉局	課	障害福祉課	事業番号	4151(1511)	
事業概要 (PLAN)				評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか		
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立			<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)		
方針	1 家庭と仕事の調和の推進と支援 重点方針					
施策の方向	5 障害者・高齢者の介護者負担の軽減					
事業番号/ 事業名	4151(1511) 「尼崎市障害者計画・障害福祉計画」の推進(再掲)			<input checked="" type="checkbox"/> を入れてください		
事業内容	障害者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、安心して暮らすことのできる地域社会の実現を図る。					
26年度に向けた 方向性 (PLAN)	障害者自立支援法の一部を改正する、いわゆる障害者総合支援法が平成25年4月から施行されており、難病者等がサービスの対象者に加えられた。今後、さらに入所施設や入院からの地域移行を推進するためには、夜間・休日における支援員の確保や緊急時におけるバックアップ体制が課題となっている。					
参考	関連する計画					
実施内容 (DO)				評価2 (CHECK) 数値目標		
26年度	・ホームヘルプ(延べ人数 33,584人 延べ時間 568,250時間) ・ショートステイ(延べ人数 4,486人 延べ日数 19,091日) ・一時保護(延べ人数 0人 延べ日数 宿泊 0日) ・児童発達支援(延べ人数 3,737人 延べ日数 28,781日) ・放課後デイサービス(延べ人数 6,455人 延べ日数 49,045日) ・訪問入浴 利用延べ回数 618回 夜間・休日における支援員の確保等のため処遇の改善を必要とする事業所の運営実態を踏まえた報酬単価の見直し等を講じるよう、国に要望した。					
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について					
前年 25年度	・ホームヘルプ(延べ人数 31,732人 延べ時間 562,266時間) ・ショートステイ(延べ人数 4,380人 延べ日数 19,711日) ・一時保護(延べ人数 0人 延べ日数 宿泊 0日) ・児童発達支援(延べ人数 3,298人 延べ日数 26,172日) ・放課後デイサービス(延べ人数 4,457人 延べ日数 30,690日) ・訪問入浴 利用延べ回数 805回					
今後の方向性 (ACTION)						
入所施設や入院からの地域移行を推進するために必要な、夜間・休日における支援員の確保等については引き続き課題であるため、人材確保のため処遇の改善を必要とする事業所の運営実態を踏まえた報酬単価の見直し等を講じるよう、引き続き国に要望していく。 障害のある人が、必要な支援を受け、身近な地域で暮らすことができる環境づくりが求められている中、保護者の高齢化等による親元からの自立や「親亡き後」を見据えた地域生活への支援を行っていく必要があるため、引き続き、一人ひとりの心身の状況や利用意向なども踏まえた福祉サービス等の提供に取り組んでいく。						

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	健康福祉局	課	介護保険事業担当	事業番号	4152	
事業概要 (PLAN)			評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか			
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立		実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)		
方針	1 家庭と仕事の調和の推進と支援	重点方針				
施策の方向	5 障害者・高齢者の介護者負担の軽減					
事業番号/事業名	4152 介護保険制度の普及					
事業内容	介護保険制度に対する市民の理解を深めるため、広報を行う。					
26年度に向けた方向性 (PLAN)	より一層理解を深めることで、適正・円滑に介護保険制度を運用するとともに、介護を必要とする人が制度を有効に利用できるよう、今後も普及啓発を進めていく。					
参考	関連する計画					
実施内容 (DO)			評価2 (CHECK) 数値目標			
26年度	広報誌の発行、パンフレットの配布を通じ、介護保険制度の概要・手続き等についてわかりやすく市民に周知し、制度への理解を深める。 1 広報誌(あまがさき介護保険だより)の発行(26年6月) (27年1月) 市内一戸別配布 224,500部 市内一戸別配布 224,000部 公共施設窓口設置 4,500部 公共施設窓口設置 5,000部 点字版・カセットテープ版の作成・配付(点字80、カセット110)年2回(26年6月、27年1月) 2 制度周知用パンフレットの購入 ・窓口設置による配布 30,000部		目標項目			
			実績の評価	目標値 <input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った <input type="checkbox"/>	28年度 26年度 25年度	
前年25年度	広報誌の発行、パンフレットの配布を通じ、介護保険制度の概要・手続き等についてわかりやすく市民に周知し、制度への理解を深める。 1 広報誌(あまがさき介護保険だより)の発行(25年6月) (26年1月) 市内一戸別配布 224,500部 市内一戸別配布 224,500部 公共施設窓口設置 5,500部 公共施設窓口設置 5,000部 点字版・カセットテープ版の作成・配付(点字77、カセット98)年2回(25年6月、26年1月) 2 制度周知用パンフレットの購入 ・窓口設置による配布 30,000部		評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容			
			男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について			
			今後の方向性 (ACTION)			
			より一層理解を深めることで、適正・円滑に介護保険制度を運用するとともに、介護を必要とする人が制度を有効に利用できるよう、今後も普及啓発をすすめていく。			

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	健康福祉局	課	高齢介護課	事業番号	4153
事業概要 (PLAN)	評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立				
方針	1 家庭と仕事の調和の推進と支援 重点方針				
施策の方向	5 障害者・高齢者の介護者負担の軽減				
事業番号/ 事業名	4153 介護保険施設の整備				
事業内容	介護保険施設の整備充実を図る。				
26年度に 向けた 方向性 (PLAN)	平成27～29年度を計画期間とする第6期介護保険事業計画に整備目標数を定め、地域密着型サービスに関しては、今後も引き続き国等の整備補助を可能な限り活用しながら整備促進を図っていく。また、特別養護老人ホームについても市の整備補助を引き続き実施していくとともに、市有地の活用等の事業者の参入しやすい公募についても他部局との連携のもと、機会を捉えて行っていく。				
参考	関連する計画	高齢者保健福祉・介護保険事業計画			
実施内容 (DO)	評価2 (CHECK) 数値目標				
26 年度	「高齢者が尊厳を持ちながら、安心して多様な暮らし方を選択できる地域社会の構築」を基本理念とし、高齢者の保健福祉に関する事業全般や、介護保険制度を円滑に実施していくために介護サービスの見込み量などを定めた「高齢者保健福祉計画・介護保険福祉計画」により、地域密着型サービス及び特別養護老人ホーム等の公募、指定を行った。				
	[26年度実績(指定)] ・認知症対応型共同生活介護・・・2箇所 ・地域密着型特定施設・・・1箇所 ・認知症対応型通所介護・・・1箇所 ・小規模多機能型居宅介護・・・2箇所 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護・・・2箇所 ・特別養護老人ホーム・・・1箇所 ・特定施設入居者生活介護・・・1箇所				
前年 25 年度	「高齢者が尊厳を持ちながら、安心して多様な暮らし方を選択できる地域社会の構築」を基本理念とし、高齢者の保健福祉に関する事業全般や、介護保険制度を円滑に実施していくために介護サービスの見込み量などを定めた「高齢者保健福祉計画・介護保険福祉計画」により、地域密着型サービス及び特別養護老人ホーム等の公募、指定を行った。				
		[25年度実績(指定)] ・認知症対応型共同生活介護・・・2箇所 ・認知症対応型通所介護・・・1箇所 ・小規模多機能型居宅介護・・・2箇所 ・特別養護老人ホーム・・・1箇所			
		今後の方向性 (ACTION)			
		平成27～29年度を計画期間とする第6期介護保険事業計画に定める施設数の整備を目指し、地域密着型サービスに関しては、今後も引き続き国等の整備補助を可能な限り活用しながら整備促進を図っていく。また、特別養護老人ホームについても市の整備補助を引き続き実施していくとともに、市有地の活用等の事業者の参入しやすい公募についても他部局との連携のもと、機会を捉えて行っていく。			
		目標項目 目標・実績 目標値 達成年度 28年度 26年度 25年度 実績の評価 <input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った			
		評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容			
		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について			

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	市民協働局	課	協働・男女参画課	事業番号	4211
---	-------	---	----------	------	------

事業概要 (PLAN)	
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立
方針	2 男女共同参画に取り組む事業者の支援 重点方針
施策の方向	1 事業者の取組みへの支援
事業番号/ 事業名	4211 事業者表彰制度の充実
事業内容	男女共同参画社会づくりに積極的に取り組む市内の事業者を募集・選定し、表彰を行う。被表彰事業者を積極的に紹介するとともに、インセンティブについて検討する。
26年度に 向けた 方向性 (PLAN)	市内事業者のワークライフバランスの確立を支援するための仕組みづくりとして、女性センターでセミナー等を行う一方で、「ワークライフバランス」賞の表彰事業を新たに実施する。実施にあたっては、市内産業界、ひょうご仕事と生活センター等と連携し、バラバラに実施するのではなく、全体として連携した制度運用を検討していく。
参考	関連する計画

評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか									
実施できた 項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてく ださい	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。								
	<input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)								
評価2 (CHECK) 数値目標									
目標項目	男女共同参画推進事業者表彰団体数								
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <td>10 団体</td> <th>達成 年度</th> <td>24~28 年度</td> <th>26年度</th> <td>13団体</td> <th>25年度</th> <td>13団体</td> </tr> </table>	目標値	10 団体	達成 年度	24~28 年度	26年度	13団体	25年度	13団体
目標値	10 団体	達成 年度	24~28 年度	26年度	13団体	25年度	13団体		
実績の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った <input type="checkbox"/> 備考								

実施内容 (DO)	
26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画事業者認定制度(一定の条件を満たせば推進事業者として認定)により、インセンティブの付与とともに、事業の周知と他事業者への波及効果を狙うこととした。(認定事業者数13社) ・認定事業者に対しては、企業内における啓発活動に役立ててもらえるよう、テレビエのセミナー案内を送付する等の情報提供を行っている。 ・ワーク・ライフ・バランスの推進にむけて、庁内関係部署、市内経済団体、ひょうご仕事と生活センター等との連携について、今後協議していく旨の調整を行った。
前年 25 年度	男女共同参画事業者認定制度を見直し、優良な実績をあげている事業者を1回のみ表彰するだけでなく、一定の条件を満たせば推進事業者として認定しインセンティブの付与等と実施し、事業の周知と他事業者への波及効果を狙うこととした。(認定事業者数13社)

評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容	
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について	
今後の方向性 (ACTION)	
<ul style="list-style-type: none"> ・認定期間が平成27年3月末で終了したことから、新たに募集を行った。更新13社を含めた28社から申請があり、25社を認定した。(13社は全て更新) ・新たなインセンティブの付与については、昨年度から調整中であり、今年度中の実現を目指す。 ・ワーク・ライフ・バランスの推進にむけて、市、市内経済団体、労働者団体、しごとと生活センター等関係機関と連携を図るため、「尼崎市の働きやすさを考える会(仮称)」を発足する。特に市内事業者に対する啓発が進むよう、事業者むけセミナー開催等について協議していく。 	

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	経済環境局	課	しごと支援課	事業番号	4221
---	-------	---	--------	------	------

事業概要 (PLAN)	
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立
方針	2 男女共同参画に取り組む事業者の支援 重点方針
施策の方向	2 働く男女や企業・事業主・労働団体に対する啓発
事業番号/ 事業名	4221 国・県のパンフレットの活用等、機会をとらえての啓発
事業内容	ワーク・ライフ・バランスの確立に向けて、企業人権・同和教育合同研究会や尼崎市技能職団体連絡協議会、尼崎労働者福祉協議会を通じて、国・県のパンフレットを活用して啓発を行うとともに、必要に応じて、各団体の理事会や研修会等において講演会を実施する。
26年度に 向けた 方向性 (PLAN)	社会環境の変化や多様な働き方に対応するために、引き続き、各種研修・講演会などを実施し、自主的な事業所内研修の啓発を支援するとともに、研修会の実施回数を増加し、より多くの勤労者及び事業所が研修会等に参加できるよう努める。
参 考	関連する計画

評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)

評価2 (CHECK) 数値目標					
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	28年度	26年度	25年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	

実施内容 (DO)	
26年度	・本市が事務局を務める企業人権・同和教育合同研究会及び尼崎労働者福祉協議会を通じて、ワークライフバランスや各種人権問題について啓発を行った。 ・企業人権・同和教育合同研究会 ぐるーぶ研修会 (29人参加) テーマ「働く人が活躍しやすい職場環境を目指して～いきいきと仕事ができるコミュニケーションとは～」 講師 女性ライフサイクル研究所 副所長 津村 薫 氏 その他研修会 6回実施 (448人参加) ・尼崎労働者福祉協議会 労働者文化教養事業 勤労者講座 (52人参加) テーマ「働く女性の生き生きライフ」 講師 特定社会保険労務士 西本 恭子 氏

評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について

前年 25年度	・本市が事務局を務める企業人権・同和教育合同研究会、及び尼崎労働者福祉協議会を通じて、国・県のパンフレットを活用して啓発を行った。 ・企業人権・同和教育合同研究会 企業内人権研修推進事業 企業内人権教育主管者講座(37社61人参加)「パワー・ハラスメントと職場内コミュニケーション」 啓発映画「パワー・ハラスメントを考える パワハラを正しく理解するために」 その他研修会 6回実施(498人参加) ・尼崎労働者福祉協議会 労働者文化教養事業 勤労者講座(15労組29人)「職場のコミュニケーション力」
------------	--

今後の方向性 (ACTION)
社会環境の変化や多様な働き方に対応するために、引き続き各種研修・講演会を実施するとともに、内容の充実を図り、事業所内での意識啓発を促進する。

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	市民協働局 経済環境局	課	協働・男女参画課 しごと支援課	事業番号	4222
事業概要 (PLAN)		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか			
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立	実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)		
方針	2 男女共同参画に取り組む事業者の支援 重点方針				
施策の方向	2 働く男女や企業・事業主・労働団体に対する啓発				
事業番号/ 事業名	4222 事業者に対する啓発の実施				
事業内容	商工会議所と連携して講座等を実施するなど、事業者に対して男女共同参画の啓発を実施する。				
26年度に向けた方向性 (PLAN)	市内事業者を対象に研修会を実施する等、市内事業者のワークライフバランスの確立に向けての取組みを支援する仕組みづくりを検討する。				
参考	関連する計画				
実施内容 (DO)		評価2 (CHECK) 数値目標			
26年度	【協働・男女参画課】 ・トレビエ(指定管理者)から商工会議所へ情報提供を行ない、連携を図っている。 ・県、経営者協会、ひょうご仕事と生活センター等と協働し、尼崎地域セミナーを実施した。 【内容】経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス 「本気の女性活用」による企業力向上(基調講演)、事例紹介とパネルトーク ・市内事業者のワーク・ライフ・バランスの確立にむけて、経済団体と連携を図り、啓発を実施していくための会議体の発足に向けて調整を行った。	目標項目			
	【しごと支援課】 ・本市が事務局を務める企業人権・同和教育合同研究会及び尼崎労働者福祉協議会を通じて、ワークライフバランスや各種人権問題について啓発を行った。 ・企業人権・同和教育合同研究会 くろーぶ研修会 (29人参加) テーマ「働く人が活躍しやすい職場環境を目指して～いきいきと仕事ができるコミュニケーションとは～」 講師 女性ライフサイクル研究所 副所長 津村 薫 氏 その他研修会 6回実施 (448人参加) ・尼崎労働者福祉協議会 労働者文化教養事業 勤労者講座 (52人参加) テーマ「働く女性の生き活きライフ」講師 特定社会保険労務士 西本 恭子 氏	目標値	達成年度	28年度	26年度
		実績の評価			
		<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った			
		評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容			
		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について			
前年 25年度	【協働・男女参画課】 ・指定管理者による商工会議所への情報提供を行っており、企業からの参加をうながしている。 県、経営者協会、ひょうご仕事と生活センター等と協働して、尼崎地域セミナーを実施した。 【内容】経営戦略としてのワークライフバランス 【講師】尼崎市長 稲村和美	今後の方向性 (ACTION)			
		【協働・男女参画課】 ・女性のキャリアアップやワークライフバランスなど仕事に関する情報提供など今後も継続していく ・経済団体、労働者団体、市の3者がともに尼崎市のワーク・ライフ・バランスを推進していくため、共に協議しあう会議体を発足し、具体的な連携方法を検討する。 【しごと支援課】 ・市内事業所労働者を対象に、各種人権研修及び講演会などを実施し、自主的な事業所内研修の促進を支援する。			

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	市民協働局	課	協働・男女参画課	事業番号	4223(4411)
---	-------	---	----------	------	-------------------

事業概要 (PLAN)	4 ワーク・ライフ・バランスの確立	
基本目標	2 男女共同参画に取り組む事業者の支援	重点方針
方針	2 働く男女や企業・事業主・労働団体に対する啓発	
施策の方向	2 働く男女や企業・事業主・労働団体に対する啓発	
事業番号/ 事業名	4223(4411) 男女共同参画推進員(企業等)の活動の促進	
事業内容	身近な地域・職場など様々な場で、男女共同参画に関する講座や相談窓口等の情報提供を行う推進員に対する支援を行う。	
26年度に 向けた 方向性 (PLAN)	さらに、幅広い啓発活動を行うため、男女共同参画推進員の推薦母体として、新たに、男女共同参画認定事業者に依頼し、企業内における情報提供及び啓発活動を推進していただく。	
参考	関連する計画	

評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)

評価2 (CHECK) 数値目標					
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	28年度	26年度	25年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	

実施内容 (DO)	
26年度	・男女共同参画推進員は、選出母体(市民公募・学校・地域・男女共同参画推進事業者)ごとに活動し、それぞれの組織団体における啓発活動を実施した。 ・推進員に対しては、テレビエのセミナー等の開催チラシの送付など定期的な情報提供や、メディアリテラシー研修会を開催するなどの支援を行った。 ・市民公募委員については、テレビエの女性フォーラムアフターイベントとして映画上映会を実施したほか、自主勉強会も開催した。(H26.12.6「Girl Rising～私が決める、私の未来」上映会、H26.11.9自主勉強会「ツイッターやラインの危険性、ゲートキーパー等」13人委嘱(H27.3.31まで)(公募市民:4人、関西国際大学推薦:1人、園田学園女子大学推薦:2人、社会福祉協議会6地区推薦:6人)

評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について

前年 25年度	・男女共同参画推進員は、制度を見直し、これまで推進員全員が共に活動していたが、より効果的な啓発を図るため、選出母体(市民公募・学校・地域)ごとに活動することとした。 13人委嘱(H27.3.31まで)(公募市民:4人、関西国際大学推薦:1人、園田学園女子大学推薦:2人、社会福祉協議会6地区推薦:6人)
------------	--

今後の方向性 (ACTION)
平成26年度末で任期が終了したことから、新たに推進員を委嘱するにあたり、より実効性のある活動となるよう、推薦母体を見直すとともに、活動内容をより具体化する。 ・社協及び大学推薦の推進員については、知識関心に個人差が大きいことから、実効性のある啓発活動とするためには、活動内容を具体的に明示する必要がある。課題整理のため、社協及び学校からの推薦を休止する。 ・一方、DVの早期発見対応に重要な役割を担う民生児童委員に対して、DV防止に関する情報提供の充実や研修機会の増大を推進することはDVの早期発見対応に必要であることから、民生児童委員連絡協議会へ推薦を依頼し、DVに関する啓発活動を組織だてで行っていただくことにする。

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局 市民協働局 課 協働・男女参画課 事業番号 **4231(1132)(4323)**

事業概要 (PLAN)			
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立		
方針	2 働く男女や企業・事業主・労働団体に対する啓発	重点方針	
施策の方向	3 職場におけるセクシュアル・ハラスメントの防止啓発		
事業番号/ 事業名	4231(1132)(4323) 女性センターにおける相談の充実(再掲)		
事業内容	子育てや介護、家族や夫との関係など女性が抱える様々な問題について弁護士、フェミニストカウンセラーによる相談を充実する。		
26年度に 向けた 方向性 (PLAN)	・「女性の悩み相談」は、今後も充実させていく。 ・DV被害者のためのグループカウンセリングは、人数的には少ない参加であるが大きな効果が認められるので引き続き継続していく。 ・配偶者暴力相談支援センターとの連携をさらに強めていく。		
参考	関連する計画		

評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)			
評価2 (CHECK) 数値目標				
目標項目				
目標・実績	目標値	達成年度	28年度	26年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った

実施内容 (DO)			
26年度	女性センターの相談員による相談(全体1,787) うちDV相談は244件(一般相談237件、法律相談7件) 電話相談1,210件(水・金・土:10~12、13~16、18~20時) 面接相談 505件(火・木:10~12、13~16時、火:18~20時) 法律相談 72件(第1・2週の木:18~20時 第3土:14~16時) DV被害女性のためのグループカウンセリング 6回 参加者数のべ42人 (平成26年10月10日~12月19日 金:10~12時) 配暴センター相談員との情報交換会などを通じて連携強化を図った。		
前年 25年度	女性センターの相談員による相談(全体1,741) うちDV相談は272件(一般相談264件、法律相談8件) 電話相談1,140件(水・金・土:10~12、13~16、18~20時) 面接相談 530件(火・木:10~12、13~16時、火:18~20時) 法律相談 71件(第1・2週の木:18~20時 第3土:14~16時) DV被害女性のためのグループカウンセリング 6回 参加者数のべ60人 (平成25年10月11日~12月20日 金:10~12時) 配暴センター相談員との情報交換会などを通じて連携強化を図った。		

評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容				
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
今後の方向性 (ACTION)				
・「女性の悩み相談」については相談への研修などを行い、今後も充実させていく。 ・DV被害者のためのグループカウンセリングは、自主グループへの参加などにつながっている。継続実施しその効果を確認しながら今後の事業につなげていきたい。 ・配偶者暴力相談支援センターと連携し迅速で安全な支援を行う。				

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	市民協働局	課	協働・男女参画課	事業番号	4232
---	-------	---	----------	------	------

事業概要 (PLAN)		
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立	
方針	2 男女共同参画に取り組む事業者の支援	重点方針
施策の方向	3 職場におけるセクシュアル・ハラスメントの防止啓発	
事業番号/ 事業名	4232 再就職準備講座での啓発	
事業内容	再就職準備講座等において、働くために必要な法知識等の普及に努める。	
26年度に 向けた 方向性 (PLAN)	再就職支援セミナーなどの一環として、セクシュアルハラスメントについての法知識や考え方の普及に取り組んでいく	
参 考	関連する計画	

評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)

評価2 (CHECK) 数値目標										
目標項目										
目標・実績 <table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>28年度</th> <th>26年度</th> <th>25年度</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td>下回った</td> </tr> </table>	目標値	達成年度	28年度	26年度	25年度	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>		下回った
目標値	達成年度	28年度	26年度	25年度						
<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>		下回った						

実施内容 (DO)
26年度 「働きづらさに悩むガールズ 応援パソコン&しごと準備講座」において、ハローワーク職員が講師となり就労にあたって最低限知っておきたい法律等について講義を行った。また、社会保険労務士が講師となりライフプラン等について講義。 「母子家庭等の女性のためのパソコン基礎講座&就労セミナー」において、ハローワーク職員と女性センター職員が講師となり就労について講義(2回)。 「チャレンジ相談」では女性の社会福祉労務士が相談を担当した。 資格取得講座では、男女共同参画講義を含めたオリエンテーションを実施し、講座の意義や役割を説明している。

評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について

前年 25年度 「働きづらさに悩むガールズ 応援パソコン&しごと準備講座」において、ハローワーク職員が講師となり「就労にあたって最低限知っておきたい法律」を開催。また、社会保険労務士が講師となり「ライフプランニング」を開催。 「母子家庭等の女性のためのパソコン基礎講座&就労セミナー」において、ハローワーク職員と女性センター職員が講師となり「求人票の読み方」を開催(2回)。 「チャレンジ相談」では女性の社会福祉労務士が相談を担当した。 資格取得講座では、男女共同参画講義を含めたオリエンテーションを実施し、講座の意義や役割を説明している。

今後の方向性 (ACTION)
再就職支援セミナーなどの一環として、セクシュアルハラスメントについての法知識や考え方の普及に取り組んでいく

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	市民協働局 経済環境局	課	協働・男女参画課 しごと支援課	事業番号	4311
事業概要 (PLAN)	評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立				
方針	3 女性の再就職・継続就労の支援 重点方針				
施策の方向	1 職業能力開発の機会の提供と充実				
事業番号/ 事業名	4311 各種資格取得講座の実施				
事業内容	女性の就労や労働条件を有利にするため、専門的知識、技能を習得し、資格を取得するための学習機会を提供する。				
26年度に 向けた 方向性 (PLAN)	スキルアップ講座、資格取得講座は指定管理者自主事業の形で実施している。受講者のニーズにこたえつつ、男女共同参画の視点を盛り込んだ講座をどのように実施したらいいか検討しながら、事業を実施していく。				
参 考	関連する計画				
実施内容 (DO)	評価2 (CHECK) 数値目標				
26 年度	【テレビエ】 チャレンジ支援パソコン講座 (ワード入門 前期・後期、エクセル入門 前期・後期、パワーポイント入門 前期・後期、ワード応用 前期・後期、エクセル応用 前期・後期) 日商PC検定3級資格取得講座(データ活用 トレビエ合格率100% 全国合格率74.3%) マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト2010資格取得講座(エクセル) 医療事務管理士資格取得講座(トレビエ合格率45.5% 全国合格率45.6%) FP技能士2級資格取得講座 (トレビエ合格率50% 全国合格率38.45%) 弥生会計検定初級資格取得講座 アンケート調査による受講者の満足度は、どの講座も良好であり、資格取得状況も全国平均をおおむね上回っている。				
	【しごと支援課】 毎月1回ポリテクセンターからの出張相談窓口を開設するとともに、ハローワークと連携し2ヶ月に1回程度の割合で、職業訓練説明会を開催した。(参加者数540人)				
前年 25 年度	【協働・男女参画課】 チャレンジ支援パソコン講座 (ワード入門 前期・後期、エクセル入門 前期・後期、パワーポイント入門 前期・後期、ワード応用 前期・後期、エクセル応用 前期・後期) 弥生会計入門講座 マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト2010 取得講座(ワード・エクセル) 日商PC検定3級資格取得講座前期 (文書作成 トレビエ合格率100% 全国合格率66.9%、データ活用 トレビエ合格率90.9% 全国合格率平均74.7%) 日商PC3級資格取得講座後期 (文書作成 トレビエ合格率100% 全国合格率平均66.9%、データ活用 トレビエ合格率100% 全国合格率平均74.7%) 医療事務管理士資格取得講座 トレビエ合格率55.5% (全国合格率平均55.4%) FP技能士3級資格取得講座 (トレビエ合格率61.54% (全国合格率平均76.07%)) プレゼンテーション実践力獲得講座(日商PC検定3級プレゼン資料作成 トレビエ合格率100% (全国合格率平均82.1%)) アンケート調査による受講者の満足度は、どの講座も良好であり、資格取得状況も全国平均をおおむね上回っている。				
		評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容			
		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について			
		実績の評価			
		目標値	達成年度	28年度	26年度
		<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った
		今後の方向性 (ACTION)			
		【テレビエ】 スキルアップ講座、資格取得講座は指定管理者自主事業の形で実施している。随時男女共同参画に関する情報提供を行うとともに、受講者のニーズにこたえつつ、就労・スキルアップにつながる事業をどのように実施したらいいか検討しながら実施していく。			
		【しごと支援課】 より求職者のニーズに直結するようハローワーク等と連携しながら、幅広い資格が取得可能な訓練機会等に関する情報の周知を図るとともに、本市のポータルサイトである「あま」おステーション」等を活用しながら、積極的に情報発信を行う。			

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】 **実施状況調査票**

局	市民協働局 経済環境局	課	協働・男女参画課 しごと支援課	事業番号	4312
事業概要 (PLAN)	評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立				
方針	3 女性の再就職・継続就労の支援 重点方針				
施策の方向	1 職業能力開発の機会の提供と充実				
事業番号/ 事業名	4312 再就職支援セミナー				
事業内容	就労・起業のために必要な知識等学び、職業能力の向上を図るための講座を実施する。				
26年度に 向けた 方向性 (PLAN)	講座、セミナーを実施していくとともに、チャレンジ相談や就労体験事業との連携、他機関との連絡をはかりながら、職業能力開発のための事業を展開していく。				
参考	関連する計画				
実施内容 (DO)	評価2 (CHECK) 数値目標				
26 年度	〔テレビエ〕 再就職支援セミナーを開催し、自立をめざす女性の支援に努めた。 「(6期)働きづらさに悩むガールズ 応援パソコン&しごと準備講座」開催。(受講者:のべ80人) 「(6期)母子家庭等の女性のためのパソコン基礎講座&就労セミナー」開催。(受講者:7人) 「働くママの時間管理術」開催。(受講者:8人) 「(7期)母子家庭等の女性のためのパソコン基礎講座&就労セミナー」開催。(受講者:8人) 情報資料室内に「女性チャレンジひろば」を設置し、女性の就労などについての書籍、冊子などを展示し閲覧に供した。 「チャレンジ相談」では女性の社会福祉労務士、キャリアコンサルタントの資格をもつ相談員が、再就職をめざす女性の相談を担当した。 福祉事務所・保護第2担当、こども家庭支援課、マザーズハローワーク、ハローワークの就労支援担当者と講座受講やジョブトレーニング実習時に連携を取りながら進めている。 講座終了者等にむけて「カフェテレビエ」や事務所内での就労体験事業を実施し、のべ10人が参加した。 〔しごと支援課〕 国の緊急雇用就業機会創出等事業基金を活用した2ヵ年事業として、「人づくり雇用拡大事業(女性再就職支援事業)」を創出し、出産や育児等で離職した女性就労希望者の再就職を促進するため、紹介予定派遣制度を活用し、原則6ヶ月を上限に期間雇用のうえ、必要な知識・技術習得のための人材育成(OFF-JT)を行った。(26年度実績:19名) なお、27年度においては、事業参加者に対して、就労希望者のニーズに即した派遣先企業を選定し、派遣先企業において職場実習(OJT)を通じて実務経験等を積ませた後に、職業紹介による雇用と就労のマッチングを行う。				
	評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容				
	「好事例」を掲載するなど、モデルケースを活用した広報により、参加者の興味・関心を引く工夫をされたい。 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
前年 25 年度	〔テレビエ〕 女性センターHPには「女性就労応援サイト」を開設。ここにセンターの就労支援でできることなどをイラストでわかりやすく広報している。 〔しごと支援課〕 「女性再就職支援事業」では、事前の参加希望者説明会において、再就職に成功した女性再就職希望者の成功例の周知を行った。				
	今後の方向性 (ACTION)				
〔テレビエ〕 就労また仕事の継続支援のための講座、セミナーを実施していく。チャレンジ広場をさらに多くの人にみてもらえるようギャラリーに移動。ハローワークの求人案内や仕事に関する情報提供の場とする。チャレンジ相談や就労体験事業との連携、他機関との連絡をはかりながら、職業能力開発のための事業を展開していく。 〔しごと支援課〕 女性センターにおける「チャレンジ相談」において、新たにしごと支援課のキャリア相談員の派遣を行い、出張相談を実施する。 また、女性の安定就労に向けて、女性センターにおいて、相談から人材育成、職業紹介までを一体的に行う女性就労支援事業(女性向けしごと塾)を実施してい。					

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	経済環境局	課	しごと支援課	事業番号	4321														
事業概要 (PLAN)		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか																	
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立	実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)																
方針	3 女性の再就職・継続就労の支援 重点方針																		
施策の方向	2 働く女性のための相談の充実と職業紹介の実施																		
事業番号/ 事業名	4321 雇用・就労相談の実施																		
事業内容	雇用・就労に関する一元的な相談窓口を設置し、雇用・就労の支援を行う。																		
26年度に向けた方向性 (PLAN)	女性等の就労促進に向けて、市民協働局や健康福祉局等の関係各課による「雇用・就労支援に関する庁内検討会議」を設置し、課題整理を行うとともに雇用・就労環境に合わせたより効果的な支援策の検討等を行う。	評価2 (CHECK) 数値目標																	
参考	関連する計画	目標項目 目標・実績 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td>達成年度</td> <td>28年度</td> <td>26年度</td> <td></td> <td>25年度</td> </tr> <tr> <td>実績の評価</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td>下回った</td> </tr> </table>				目標値		達成年度	28年度	26年度		25年度	実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している		<input type="checkbox"/>		下回った
目標値		達成年度	28年度	26年度		25年度													
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している		<input type="checkbox"/>		下回った													
実施内容 (DO)		評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容																	
26年度	<ul style="list-style-type: none"> 雇用・就労相談(実績:就労相談585件 その他3件 合計588件) 雇用・就労における一元的な相談を実施するとともに、必要に応じて専門相談へ引き継ぐ。各種団体で実施する合同就職相談会や各種助成金・融資等に関する情報を提供する。 労働相談(実績:72件) 労働者や事業主に対し、電話や面談によって労働条件等の相談を実施する。 キャリアカウンセリング(実績:194件) 離職者や現在の職に不安な方に対し、産業カウンセラーによる個別相談を実施する。 キャリアコンサルティング(実績:201件) 現在の職でのスキルアップ、転職に関する個別相談を実施する。 	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について																	
前年 25年度	<ul style="list-style-type: none"> 雇用・就労相談(実績:就労相談540件 その他13件 合計553件) 雇用・就労における一元的な相談を実施するとともに、必要に応じて専門相談へ引き継ぐ。各種団体で実施する合同就職相談会や各種助成金・融資等に関する情報を提供する。 労働相談(実績:94件) 労働者や事業主に対し、電話や面談によって労働条件等の相談を実施する。 キャリアカウンセリング(実績:224件) 離職者や現在の職に不安な方に対し、産業カウンセラーによる個別相談を実施する。 キャリアコンサルティング(実績:147件) 現在の職でのスキルアップ、転職に関する個別相談を実施する。 	今後の方向性 (ACTION) 女性等の就労促進に向けて、引き続き、市民協働局や健康福祉局等の関係各課で構成される「雇用・就労支援に関する庁内検討会議」を活用し、課題の共有化を図るとともに、具体的な事業連携を実施していく。																	

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	経済環境局	課	しごと支援課	事業番号	4322																
事業概要 (PLAN)		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか																			
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立	実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)																		
方針	3 女性の再就職・継続就労の支援 重点方針																				
施策の方向	2 働く女性のための相談の充実と職業紹介の実施																				
事業番号/事業名	4322 無料職業紹介、労働関係情報の収集・提供																				
事業内容	「尼崎市無料職業紹介窓口」を設置し、求職者一人ひとりにあった具体的な職業紹介を行うとともに、雇用・就労、労働条件、スキルアップに関する情報を集約・提供する。																				
26年度に向けた方向性 (PLAN)	市報や市HPのほか、専用ポータルサイト「あまJOBステーション」を通じて情報発信に努めるとともに、市内の経済団体やハローワーク、ポリテクセンターなどの他の就労支援機関、大学及び子育てサークル等と連携し事業全体の周知を図っていく。 また、女性に対する支援のため、市民協働局や健康福祉局等の関係各課による「雇用・就労支援に関する庁内検討会議」を設置し、雇用・就労環境に合わせた支援策の検討とともに課題整理を行う。																				
参考	関連する計画																				
実施内容 (DO)		評価2 (CHECK) 数値目標																			
26年度	求職者一人ひとりの希望等を確認し、企業側の希望も踏まえて、個別丁寧な職業紹介を行う。 ・求職申込者数 180人(うち女性申込者数56人) ・職業紹介件数 126人(うち女性申込者に対する件数38件) ・新規登録事業所数 71件(うち市内企業57件) ・登録事業所数(延べ) 316件(うち市内企業256件) ・求人数 566人(うち市内企業による求人数397人) ・就職数 109人(うち女性就職者34人) (うち本市窓口紹介 37人(うち女性14人))	目標項目 目標・実績 <table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td>達成年度</td> <td>28年度</td> <td>26年度</td> <td></td> <td>25年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 実績の評価 <input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った				目標値		達成年度	28年度	26年度		25年度									
		目標値		達成年度	28年度	26年度		25年度													
求職者一人ひとりの希望等を確認し、企業側の希望も踏まえて、個別丁寧な職業紹介を行う。 ・求職申込者数 195人(うち女性申込者数39人) ・職業紹介件数 94人(うち女性申込者に対する件数23件) ・新規登録事業所数 60件(うち市内企業46件) ・登録事業所数(延べ) 245件(うち市内企業199件) ・求人数 428人(うち市内企業による求人数343人) ・就職数 82人(うち女性就職者19人) (うち本市窓口紹介 27人(うち女性6人))	評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について																				
求職者一人ひとりの希望等を確認し、企業側の希望も踏まえて、個別丁寧な職業紹介を行う。 ・求職申込者数 195人(うち女性申込者数39人) ・職業紹介件数 94人(うち女性申込者に対する件数23件) ・新規登録事業所数 60件(うち市内企業46件) ・登録事業所数(延べ) 245件(うち市内企業199件) ・求人数 428人(うち市内企業による求人数343人) ・就職数 82人(うち女性就職者19人) (うち本市窓口紹介 27人(うち女性6人))	今後の方向性 (ACTION) 女性の就労希望者に対しては、庁内関係各課や子育てサークル等の関係団体との連携を更に強化する中で、積極的にポリテクセンター等の職業訓練機関の訓練内容について情報発信を行うとともに、無料職業紹介窓口への誘導を図っていく。 また、女性に対する支援のため、引き続き、市民協働局や健康福祉局等の関係各課で構成される「雇用・就労支援に関する庁内検討会議」を活用し、課題の共有化を図るとともに、具体的な事業連携を実施していく。																				

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局 市民協働局 課 協働・男女参画課 事業番号 **4323(1132)(4231)**

事業概要 (PLAN)		
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立	
方針	3 女性の再就職・継続就労の支援	重点方針
施策の方向	2 働く女性のための相談の充実と職業紹介の実施	
事業番号/ 事業名	4323(1132)(4231) 女性センターにおける相談の充実	
事業内容	子育てや介護、家族や夫との関係など女性が抱える様々な問題について弁護士、フェミニストカウンセラーによる相談を充実する。	
26年度に 向けた 方向性 (PLAN)	・「女性の悩み相談」は、今後も充実させていく。 ・DV被害者のためのグループカウンセリングは、人数的には少ない参加であるが大きな効果が認められるので引き続き継続していく。 ・配偶者暴力相談支援センターとの連携をさらに強めていく。	
参考	関連する計画	

評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)

評価2 (CHECK) 数値目標							
目標項目							
目標・実績 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td>達成年度</td> <td>28年度</td> <td>26年度</td> <td></td> <td>25年度</td> </tr> </table>	目標値		達成年度	28年度	26年度		25年度
目標値		達成年度	28年度	26年度		25年度	
実績の評価	<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った						

実施内容 (DO)
26年度 女性センターの相談員による相談(全体1,787) うちDV相談は244件(一般相談237件、法律相談7件) 電話相談1,210件(水・金・土:10~12、13~16、18~20時) 面接相談 505件(火・木:10~12、13~16時、火:18~20時) 法律相談 72件(第1・2週の木:18~20時 第3土:14~16時) DV被害女性のためのグループカウンセリング 6回 参加者数のべ42人 (平成26年10月10日~12月19日 金:10~12時) 配暴センター相談員との情報交換会などを通じて連携強化を図った。

評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について

前年 25年度 女性センターの相談員による相談(全体1,741) うちDV相談は272件(一般相談264件、法律相談8件) 電話相談1,140件(水・金・土:10~12、13~16、18~20時) 面接相談 530件(火・木:10~12、13~16時、火:18~20時) 法律相談 71件(第1・2週の木:18~20時 第3土:14~16時) DV被害女性のためのグループカウンセリング 6回 参加者数のべ60人 (平成25年10月11日~12月20日 金:10~12時) 配暴センター相談員との情報交換会などを通じて連携強化を図った。
--

今後の方向性 (ACTION)
・「女性の悩み相談」については相談への研修などを行い、今後も充実させていく。 ・DV被害者のためのグループカウンセリングは、自主グループへの参加などにつながっている。継続実施しその効果を確認しながら今後の事業につなげていきたい。 ・配偶者暴力相談支援センターと連携し迅速で安全な支援を行う。

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	市民協働局	課	協働・男女参画課	事業番号	4324
---	-------	---	----------	------	------

事業概要 (PLAN)	
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立
方針	3 女性の再就職・継続就労の支援 重点方針
施策の方向	2 働く女性のための相談の充実と職業紹介の実施
事業番号/ 事業名	4324 女性チャレンジひろば
事業内容	再就職等にチャレンジする女性を総合的に支援するため、情報提供や相談の窓口となるチャレンジひろばを実施する。
26年度に 向けた 方向性 (PLAN)	情報提供、チャレンジ相談、就労体験事業、カフェ・テレビエ運営をチャレンジ広場事業と位置づけ、再就職等にチャレンジする女性のための支援を総合的に展開していく。他機関との連携を進める。
参考	関連する計画

評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか											
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)										
評価2 (CHECK) 数値目標											
目標項目											
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>28年度</th> <th>26年度</th> <th>25年度</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	目標値	達成年度	28年度	26年度	25年度					
目標値	達成年度	28年度	26年度	25年度							
実績の評価	<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った										

実施内容 (DO)																				
女性のためのチャレンジひろば事業 あまがさき女性チャレンジひろば。就労に関する情報コーナーの運営 チャレンジ相談 月7コマ(一時保育無料)*兵庫県出前チャレンジ相談として実施 相談件数63件。 就労体験事業																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>働きづらさに悩む若年女性のための就労支援講座修了者</th> <th>経済的に困難な状況にある女性のためのパソコン講座修了者</th> <th>尼崎市社会的な居場所づくり支援事業</th> <th>合計(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カフェ体験</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>事務体験</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>合計(人)</td> <td>1(のべ)</td> <td>3(のべ)</td> <td>6(のべ)</td> <td>10(のべ)</td> </tr> </tbody> </table>		働きづらさに悩む若年女性のための就労支援講座修了者	経済的に困難な状況にある女性のためのパソコン講座修了者	尼崎市社会的な居場所づくり支援事業	合計(人)	カフェ体験	1	1	2	4	事務体験	0	2	4	6	合計(人)	1(のべ)	3(のべ)	6(のべ)	10(のべ)
	働きづらさに悩む若年女性のための就労支援講座修了者	経済的に困難な状況にある女性のためのパソコン講座修了者	尼崎市社会的な居場所づくり支援事業	合計(人)																
カフェ体験	1	1	2	4																
事務体験	0	2	4	6																
合計(人)	1(のべ)	3(のべ)	6(のべ)	10(のべ)																
カフェ・テレビエ運営事業 年間客数 7,238人(1日平均27人) カフェ・テレビエ内にテーブルを設置し、起業をめざす女性等の自作製品の展示・販売を行った。出展者22人																				

評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について

前年 25年度																				
女性のためのチャレンジひろば事業 あまがさき女性チャレンジひろば。就労に関する情報コーナーの運営 チャレンジ相談 月7コマ(一時保育無料)*兵庫県出前チャレンジ相談として実施 相談件数68件。 就労体験事業																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>働きづらさに悩む若年女性のための就労支援講座修了者</th> <th>経済的に困難な状況にある女性のためのパソコン講座修了者</th> <th>尼崎市社会的な居場所づくり支援事業</th> <th>合計(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カフェ体験</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事務体験</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>合計(人)</td> <td>10(のべ)</td> <td>6(のべ)</td> <td>1(のべ)</td> <td>17(のべ)</td> </tr> </tbody> </table>		働きづらさに悩む若年女性のための就労支援講座修了者	経済的に困難な状況にある女性のためのパソコン講座修了者	尼崎市社会的な居場所づくり支援事業	合計(人)	カフェ体験	4	1	0	5	事務体験	6	5	1	12	合計(人)	10(のべ)	6(のべ)	1(のべ)	17(のべ)
	働きづらさに悩む若年女性のための就労支援講座修了者	経済的に困難な状況にある女性のためのパソコン講座修了者	尼崎市社会的な居場所づくり支援事業	合計(人)																
カフェ体験	4	1	0	5																
事務体験	6	5	1	12																
合計(人)	10(のべ)	6(のべ)	1(のべ)	17(のべ)																
カフェ・テレビエ運営事業 年間客数 8,669人(1日平均30人) カフェ・テレビエ内にテーブルを設置し、起業をめざす女性等の自作製品の展示・販売を行った。出展者22人																				

今後の方向性 (ACTION)
情報提供、チャレンジ相談、就労体験事業、カフェ・テレビエ運営をチャレンジ事業と位置づけ、再就職等にチャレンジする女性のための支援を総合的に展開していく。また女性の仕事継続支援としての情報提供などにも力を入れていく。

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	市民協働局	課	協働・男女参画課	事業番号	4411(4223)				
事業概要 (PLAN)				評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか					
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立			実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。				
方針	4 地域活動における男女共同参画の促進 重点方針				<input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。				
施策の方向	1 市民による地域での男女共同参画の促進				<input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)				
事業番号/ 事業名	4411(4223) 男女共同参画推進員(地域)の活動の促進(再掲)								
事業内容	身近な地域・職場など様々な場で、男女共同参画に関する講座や相談窓口等の情報提供を行う推進員を支援する。								
26年度に向けた 方向性 (PLAN)	さらに、幅広い啓発活動を行うため、男女共同参画推進員の推薦母体として、新たに、男女共同参画認定事業者に依頼し、企業内における情報提供及び啓発活動を推進していただく。			評価2 (CHECK) 数値目標					
参 考	関連する計画			目標項目					
				目標・実績	目標値	達成 年度	28 年度	26年度	25年度
				実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している		<input type="checkbox"/>	下回った
実施内容 (DO)				評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容					
26 年度	・男女共同参画推進員は、選出母体(市民公募、学校、地域、男女共同参画推進事業者)ごとに活動し、それぞれの組織団体における啓発活動を実施した。 ・推進員に対しては、テレビエのセミナー等の開催チラシの送付など定期的な情報提供や、メディアリテラシー研修会を開催するなどの支援を行った。 ・市民公募委員については、テレビエの女性フォーラムアフターイベントとして映画上映会を実施したほか、自主勉強会も開催した。(H26.12.6「Girl Rising～私が決める、私の未来」上映会、H26.11.9自主勉強会「ツイッターやラインの危険性、ゲートキパー等」) 13人委嘱(H27.3.31まで)(公募市民:4人、関西国際大学推薦:1人、園田学園女子大学推薦:2人、社会福祉協議会6地区推薦:6人)			男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について					
前年 25 年度	・男女共同参画推進員は、制度を見直し、これまで推進員全員が共に活動していたが、より効果的な啓発を図るため、選出母体(市民公募、学校、地域)ごとに活動することとした。 13人委嘱(H27.3.31まで)(公募市民:4人、関西国際大学推薦:1人、園田学園女子大学推薦:2人、社会福祉協議会6地区推薦:6人)			今後の方向性 (ACTION) ・平成26年度末で任期が終了したことから、新たに推進員を委嘱するにあたり、より実効性のある活動となるよう、推薦母体を見直すとともに、活動内容をより具体化する。 ・社協及び大学推薦の推進員については、知識関心に個人差が大きいため、実効性のある啓発活動とするためには、活動内容を具体的に明示する必要がある。課題整理のため、社協及び学校からの推薦を休止する。 ・一方、DVの早期発見対応に重要な役割を担う民生児童委員に対して、DV防止に関する情報提供の充実や研修機会の増大を推進することはDVの早期発見対応に必要であることから、民生児童委員連絡協議会へ推薦を依頼し、DVに関する啓発活動を組織だてで行っていただくことにする。					

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	健康福祉局	課	福祉課	事業番号	4421										
事業概要 (PLAN)		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか													
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立														
方針	4 地域活動における男女共同参画の促進 重点方針														
施策の方向	2 地域社会活動等の支援と男性の参加の促進														
事業番号/ 事業名	4421 ボランティア活動への男性の参加の促進														
事業内容	シニア世代も含めたボランティアの男性の参加を促進するため、男性が受講しやすいボランティア養成講座など内容を工夫していく。														
26年度に 向けた 方向性 (PLAN)	ボランティアセンターでは、情報誌やインターネット等を通じた情報発信を随時行い、ボランティア活動の促進や事業の啓発を行っている。また、ボランティア加入のきっかけになるような入門講座や、近年ニーズの高い防災等の講座を開催するなどしてボランティアに興味を持ってもらえるよう工夫している。今後も、様々な方が受講しやすい環境づくりに努めていく。														
参 考	関連する計画	第2期あまがさき地域福祉計画													
実施内容 (DO)		評価2 (CHECK) 数値目標													
26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発広報機関誌「ゆうりん」 年12回発行 8,400部(各700部) ・ボランティア情報誌「コーディネーター通信」 年12回発行 8,400部(各700部) ・ボランティア保険掛金助成 ・登録ボランティア グループ...5,039人(男1,250人 女3,789人) 個人...292人(男119人 女173人) ・援助、講師派遣 ・NPOとの情報共有 					目標項目									
						<table border="1"> <tr> <td>目標・実績</td> <td>目標値</td> <td>達成 年度</td> <td>28 年度</td> <td>26年度</td> <td>25年度</td> </tr> <tr> <td>実績の評価</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td colspan="2">達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> </tr> </table>				目標・実績	目標値	達成 年度	28 年度	26年度	25年度
目標・実績	目標値	達成 年度	28 年度	26年度	25年度										
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している		<input type="checkbox"/>	下回った										
26年度		評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容													
		「好事例」を掲載するなど、モデルケースを活用した広報により、参加者の興味・関心を引く工夫をされたい。													
		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について													
		個人登録ボランティアでの割合が男女比 = 4:6であり、グループ活動に比べ、高い比率で男性の個人登録があり、男性ボランティアを取り込む上、個人登録の仕組みが効果的である。平成27年度から、休日にボランティア教室を開催し、男性の割合が多い勤労者が受講しやすい契機を提供し、個人登録ボランティアの登録促進を行う。「好事例」として、ボランティア教室の感想等をチラシ(月1回発行)に掲載することは、人の興味を惹く良い手段であるので、前向きに検討させていただきます。													
前年 25 年度		今後の方向性 (ACTION)													
		これまでボランティアに興味のある方を対象に毎月1回のボランティア教室の開催、ボランティア登録者を多く募るため、郵送での受付も始めるなど、ボランティア従事者の確保に努めてきた。今年度から、勤労者及び学生等の若年層の参加数を増やすため、休日においてもボランティア教室を開催することを決めた。これにより、勤労者及び学生(男性)の参画をよりいっそう促進する。													

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	市民協働局	課	市民活動推進担当	事業番号	4422
---	-------	---	----------	------	------

事業概要 (PLAN)		
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立	
方針	4 地域活動における男女共同参画の促進	重点方針
施策の方向	2 地域社会活動等の支援と男性の参加の促進	
事業番号/ 事業名	4422 地域活動への男性の参加の促進	
事業内容	男性が地域活動に参加し、また、性別に関わらず活動の役割分担ができるような地域コミュニティの形成と協働のまちづくりを推進する。	
26年度に 向けた 方向性 (PLAN)	「まちづくり参加・相談窓口」の存在があまり知られていないため、引き続きPRに努めていく。まちづくり相談の際に効果的に対応するための知識(補助金や団体形成の仕組み等)を職員が持つよう能力開発に努める。	
参考	関連する計画	

評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか							
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください							
<input type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)							
評価2 (CHECK) 数値目標							
目標項目							
目標・実績 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td>達成年度</td> <td>28年度</td> <td>26年度</td> <td></td> <td>25年度</td> </tr> </table>	目標値		達成年度	28年度	26年度		25年度
目標値		達成年度	28年度	26年度		25年度	
実績の評価	<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った						

実施内容 (DO)	
26年度	「まちづくり参加・相談窓口」を6地域振興センター内に設置し、相談に応じるとともにホームページを開設している。 相談382件(まちづくり6件、一般376件) まちづくり相談人数6人中6人が男性 ホームページアクセス数4,058件
前年 25年度	「まちづくり参加・相談窓口」を6地域振興センター内に設置し、相談に応じるとともにホームページを開設している。 相談679件(まちづくり5件、一般674件) まちづくり相談人数5人中3人が男性 ホームページアクセス数3,668件

評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容
「好事例」を掲載するなど、モデルケースを活用した広報により、参加者の興味・関心を引く工夫をされたい。
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について
具体的なモデルケースを活用し、広報する手法は効果的と考えられるので、市ホームページ等に掲載するなど前向きに検討していく。
今後の方向性 (ACTION)
「まちづくり参加・相談窓口」のPRを引き続き努めていく。モデルケースを活用した広報を実施するとともに、平成26年度に園田地区会館で実施された「男の土曜塾」などの男性の地域活動への参加促進に繋がるような講座等を積極的に周知するよう努める。

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局	総務局	課	生活安全課	事業番号	4431		
事業概要 (PLAN)			評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立		実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)			
方針	4 地域活動における男女共同参画の促進	重点方針					
施策の方向	3 消費者活動・環境保全活動の推進						
事業番号/事業名	4431 ぐらしいいき巡回講座の実施						
事業内容	地域の自主活動グループに対し講師を派遣し、男女共同参画の視点に立って、消費生活に関する知識や、身近な環境問題についての講座を実施する。						
26年度に向けた方向性 (PLAN)	・男性及び若年層の参加促進も課題であることから、これらも考慮しながら、消費生活に関する知識や身近な環境問題についての講座を引続き実施する。						
参考	関連する計画						
実施内容 (DO)			評価2 (CHECK) 数値目標				
26年度	・ぐらしいいき巡回講座 24回 1,083人参加 ・その他、消費生活講座(19回、699人(男性179人、女性459人、不明61人)参加)などの啓発事業も実施。		目標項目				
			目標・実績	目標値	達成年度	28年度	26年度
		実績の評価		<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った
26年度			評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容				
			男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
前年 25年度			今後の方向性 (ACTION)				
・ぐらしいいき巡回講座 31回 666人参加 ・その他、相談事例講座(17回、906人(男性233人、女性601人、不明72人)参加)などの啓発事業も実施。			男性及び若年層の参加も視野に入れ、引続き、消費生活に関する知識を深めるための講座を実施する。				

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	経済環境局	課	環境創造課	事業番号	4432
---	-------	---	-------	------	------

事業概要 (PLAN)		
基本目標	4 ワーク・ライフ・バランスの確立	
方針	4 地域活動における男女共同参画の促進	重点方針
施策の方向	3 消費者活動・環境保全活動の推進	
事業番号/ 事業名	4432 環境保全活動における男女共同参画	
事業内容	男女共同参画の視点に立って、協働による環境学習会や環境保全活動を実施し、情報の共有化やネットワークづくりを図り、各種地域活動団体の環境活動の輪を広げる。	
26年度に 向けた 方向性 (PLAN)	講座やイベントを中心としたこれらの事業について、平成26年度からは、提案型事業委託制度において、NPO法人あまがさき環境オープンカレッジへ事業実施を委託しており、市民にとってより身近で参加しやすいイベントが実施できるものと考えている。オープンカレッジに任せきりではなく、市も並走し、市民と市が力を合わせて事業を進めていく。また、参加者が共に楽しく学び、考える場となるような企画のあり方も検討する。	
参考	関連する計画	尼崎市環境基本計画

評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか					
実施できた 項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてく ださい	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)				

評価2 (CHECK) 数値目標					
目標項目					
目標・実績	目標値	達成 年度	28 年度	26年度	25年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している		<input type="checkbox"/>	下回った

実施内容 (DO)		
26 年度	<p><主催講座・イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコあまフェスタ2014 参加者1,300人 ・打ち水大作戦inあまがさき2014 参加者150人 など計30講座 参加者 計2,582人 <p><連携講座></p> <ul style="list-style-type: none"> ・田植えにチャレンジ～棚田で田植えをしよう～ ・尼崎から「エコな発明」を全国に！ など計22講座 受講生 計367人 <p><環境情報誌「あまがさき通信」の発行></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月号12回、特集号2回 <p>事業成果について</p> <p>平成26年度より、提案型事業委託制度において、NPO法人あまがさき環境オープンカレッジに事業委託を行っており、市民目線のイベント検討・実施を行う体制が整いつつある。</p> <p>特に、市民団体との連携講座開催数が昨年度の18講座から22講座に増えるなど市民発信型事業を着実に強化することができた。また、主催講座においても、「おもちゃ病院塚口診療所」や「夏休みエコキッズ」(夏休み期間中に実施する子供向け自然観察イベント)など、多角的な切り口で子供たちが興味・関心をもてるような事業を実施した。</p>	

評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容					
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について					

前年 25 年度	<p><主催講座・イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコあまフェスタ2013 参加者2,600人 ・打ち水大作戦inあまがさき2013 市内29事業所、駅前イベント参加者 90人 他 計16講座 参加者 計3,009人 <p><連携講座></p> <ul style="list-style-type: none"> ・藻川で魚釣り ・親子エコクッキング 等 計18講座 受講生 計348人 <p><環境情報誌「あまがさき通信」の発行></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月号12回、特集号2回 	
----------------	---	--

今後の方向性 (ACTION)					
<p>・安全管理マニュアルの整備を行い、市民が安心して事業に参加できるよう、責任範囲の明確化に努める。</p> <p>・主催事業を「ちきゅう(省エネなどでちきゅうにやさしく)」、「リサイクル」、「くらし」、「いきもの」、「しごと」、「つながり」の6つのキーワードで体系化し、多角的に「環境」を捉えることで、市民が環境をより身近に感じられるような事業実施、啓発を行う。</p>					